

平成30年度

決算報告書

国立大学法人山口大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人山口大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,817	11,988	171	(注1)
施設整備費補助金	1,608	1,635	27	
補助金等収入	450	807	357	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	43	43	—	
自己収入	29,699	30,430	731	
授業料、入学料及び検定料収入	6,186	6,268	82	(注3)
附属病院収入	22,420	22,937	517	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	1,093	1,225	132	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,378	2,707	329	(注6)
長期借入金	9,536	9,533	△2	
目的積立金取崩	645	2,025	1,380	(注7)
計	56,176	59,171	2,995	
支出				
業務費	41,062	42,673	1,611	(注8)
教育研究経費	18,750	18,532	△217	
診療経費	22,312	24,140	1,828	
施設整備費	11,187	11,212	25	
補助金等	450	807	357	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,378	2,149	△228	(注10)
長期借入金償還金	1,099	1,052	△46	
計	56,176	57,895	1,719	
収入－支出	—	1,276	1,276	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当に係る前年度からの繰越額及び、予算段階では予定していなかった退職手当、授業料免除の追加配分が行われたことにより、予算金額に比して決算金額が171百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、国及び県からの補助金事業の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が357百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者数及び志願者数が予算積算員数に比して増加していることにより、予算金額に比して決算金額が82百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、医療機関別係数の増加、高額医薬品の適用患者の増加等により、予算金額に比して決算金額が517百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、家畜治療収入の増加等により、予算金額に比して決算金額が132百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、山口大学後援財団の解散による残余財産の引継ぎ並びに、寄附金収入等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が329百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階で平成29年度決算に係る目的積立金が未承認のため、予算金額に計上しておらず、決算金額が1,380百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、予算段階で未承認だったため、予算金額に計上していなかった目的積立金を執行したこと、医薬品費の増加等により、予算金額に比して1,611百万円多額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が357百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、産学連携等研究経費予算額を多額に見込んでいたことにより、予算金額に比して決算金額が228百万円少額となっています。